

## 安来高校植物図鑑（2022年9月）

### 和名: ヘクソカズラ（屁糞蔓、屁臭蔓）

夏の終わり頃になると必ずどこかで見かけるこの花。安来高校で全然見かけないので不思議に思っていたのですが、今年やっと見つけました。可哀想な名前でも有名な花でもあります。触ると臭いそうなのですが、私は鼻が利くほうではないし、臭いのはイヤなので、今まで触ったことはありません。なので悪臭を感じたこともありません。興味のある方はチャレンジしてみてください。つる性の植物なので、たいてい何かに絡みついて、赤と白のコントラストが際立つ花を咲かせています。安来高校でも低木の植木にからみついて逞しく育っていました。



### 和名: エノキグサ（榎草）



エノキ(榎)という樹木と葉がよく似ていることからこの名前があります。キノコのエノキタケじゃありません。この植物は地味で目立たないです。私も以前は花であることに気付いていませんでした。赤色で上に伸びている棒状のところが雄花で、雌花は小さい葉のような部分(総苞が変化したもの)の付け根にあります。棒状のところをよーく見てみると、確かに花のようなものが(右上写真)。



雄花が転がり落ちて、雌花と受粉するそうです。花が終わると総苞の上にちょこんと果実が3つ乗った状態(右下写真、2021年10月撮影)になるので可愛らしいです。

### 和名: オトギリソウ（弟切草）

見た瞬間、似ている！と思いました。2020年7月に紹介したコケオトギリと花の構造がよく似ていますが、花も個体もかなり大きい。初めて見つけたのですが、これはきっとオトギリソウだ、とすぐわかりました。後で市販の図鑑で確認したところ、間違いなさそうです。名前の由来はコケオトギリの時に紹介したのでそちらをご覧ください。葉に黒い斑点が見られるのですが、これは弟を斬ったときに血が飛び散ったものだと言われているそうです。昔の人々の名前のつけ方は奇妙ですね。



安来高校には毎年ツバメがやってきて校舎に巣を作ります。飛んでいるところは撮れませんでした。腰のあたりが赤いことからコシアカツバメと呼ばれる種です。他のツバメがお茶碗の半分のような巣を作るのに対し、コシアカツバメはとっくりを半分に割ったような巣を作るので、見るとすぐわかります。9月になった今でもまだ巣の中にいますね。いつ出ていくのでしょうか。